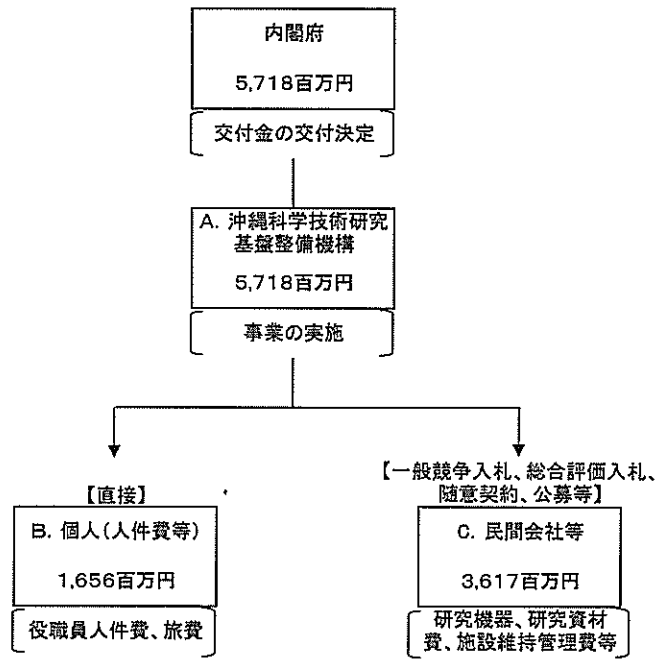


行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 運営費交付金に必要な経費		事業開始 年度	平成17年度	作成責任者	
担当部局庁	沖縄振興局		担当課室	新大学院大学企画推進室	中村 裕一郎	
会計区分	一般会計		上位政策	沖縄政策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 法		関係する計 画、通知等	沖縄振興計画		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に、3行程度 以内)	沖縄振興特別措置法第4条第1項に規定する沖縄振興計画に基づく同法第85条第2項に規定する大学院を置く大学の設置※の準備と併せて、沖縄を拠点とする国際的に卓越した科学技術に関する研究及び開発等を推進することにより、沖縄における科学技術に関する研究開発の基盤の整備を図り、もって沖縄の自立的発展及び世界の科学技術の発展に寄与すること。 ※ 平成24年度の開学を目指している。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構が行う沖縄における科学技術に関する研究及び開発の基盤の整備を図るための業務に対して交付する。具体的な業務は次のとおり。①国際的に卓越した科学技術に関する研究開発を行うこと、②①の業務に係る成果を普及し、及びその活用を促進すること、③科学技術に関する研究集会の開催その他の研究者の交流を促進するための業務を行うこと、④機構の施設及び設備を科学技術に関する研究開発を行う者の共用に供すること、⑤国際的に卓越した科学技術に関する研究者を養成し、及びその資質の向上を図ること、⑥大学院大学の設置の準備を行うこと等。 補助率:定額					
実施状況	<p>○先行的研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院大学に移行するための先行的研究事業として、22の研究ユニットの下、国内外から集まった研究者170人が従来の科学の分野の境界を乗り越えた学際的で先端的な研究プロジェクトを展開。 ※ ユニット数、研究者数は平成22年3月1日時点。 ・国内外の若手研究者や学生等を対象に、国際ワークショップ・セミナー等を開催。 ※ 国際ワークショップは平成21年度は8回実施、参加者362人(うち海外の大学等から175人)。 ※ 毎年実施しているサマースクールについては、内外の大学院から単位として認定。 <p>○大学院大学設置準備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の開学に向けた大学院大学の組織体制及び教育課程等に関する検討等(平成23年3月に文部科学大臣に対し、寄附行為及び大学設置の認可申請を行う予定)。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	4,283	4,454	5,718	8,167	9,578
	執行額	4,283	4,454	5,718		
	執行率	100	100	100		
	総事業費(執行ベース)	4,283	4,454	5,718		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	○運営費交付金の使途は特定されず、その執行に当たっては機構の中期計画の範囲内で裁量が認められている。 ○担当職員が執行状況について適宜、把握し報告を受けるとともに、次の事業年度には独立行政法人評価委員会で業務実績の評価を実施することとされており、事業目的の実現や効果の発揮の観点から検証を行うための措置がとられている。				
	見直しの 余地	○今般、施設整備費補助金の執行額が予算額を超過していたことを受けて機構の管理運営体制強化を求めており、経費節減に向けた取組を含め予算執行の効率化が着実に図られるよう、厳格なフォローアップを行うこととしている。(効率化の取組としては、研究資材等の購入単価を抑えるために共同一括購入の導入や単価契約の拡充をすること、機器の購入及び維持管理にかかる費用を抑制するために研究機器の共有化を促進すること等が考えられる。) ※ 組織運営・予算執行体制に関する改革方針については「補記」欄を参照。				
予算 監視 の 所 効 見 率	機構における組織運営・予算執行体制の改革を進めるとともに、厳格なフォローアップを行うべき。また、機構の事業全体を見直し、事業規模の縮小・効率化を図るべき。					
補 記	(組織運営・予算執行体制に関する改革方針について) ・専任の事務局長の早期配置、開学に向けた組織再編 ・予算課長等の実務レベルの早期配置、会計規程等の厳格な実施 ・監事による厳正な監査の実施 ・予算執行結果の報告など内閣府への従来以上の緊密な連絡					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
一般管理費	役職員人件費、物件費等	944			
業務費	研究者等件費、研究設備・備品費、 国際ワークショップ開催費等	4,774			
計		5,718	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	役員人件費	53			
人件費	研究者及び研究補助員等	1,078			
人件費	研究支援・管理部門	434			
旅費	役職員旅費、招聘旅費	91			
計		1,656	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	研究設備・備品費	291			
物品購入費	材料・消耗品費	138			
保守管理費	物品維持管理費	10			
計		439	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

行政事業レビューシート 別紙 (内閣府)

C.	
支出先	金額 (百万円)
トミー沖縄ノボサイエンス株式会社	439
沖縄メディックス株式会社	266
三進金属工業株式会社	203
竹中・仲本特定建設工事共同企業体	188
住商インテリアインターナショナル株式会社	153
沖縄電力株式会社	114
株式会社紀伊國屋書店	101
東光電気工事株式会社	88
株式会社日建設計	85
ボヴィス・レンドリース・ジャパン株式会社	75
計	1,712
資金の流れ	
別紙	
支出先	金額 (百万円)
計	0
支出先	金額 (百万円)
計	0